「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート(A:裁量有)

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

	業													
子	予算科目 款 2			総務費	路費 項 1		総務管理費 目 6		6	才 產管理費	事業番号 3			
闡	掌	の種別	✓ 市単独	□ 補]補助対象 □ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せ				の(市の上乗せあり))				
担	当告	部署・課長	名	総發	管財 課 用地管財 係 課長名				課長名	岩本 尚史				
$-\sigma$	この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段						ですか。		施	策番号	行 - 2			
						J 72				合計画書				
(little			りでスリムな							(ページ)	122			
	_		を対象にし	ています	すか。 		1 ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)							
	公1	有財産				公有財産面積(土地) 公有財産面積(建物延床面積)								
									如食(娃彻延外面食)					
1				こしたい	のですか。[簡	[潔に]				あらわすもの	(成果指標)			
$\overline{}$	適正に維持管理される。						異動件数/	美 製処埋作	件数*100					
の							→							
仕														
事の														
			に何をしま		<i>5.16.2</i>				行いました	:か(活動指標))			
的			こ件い、公有! 面積等を把握:		の作成、変更、	才 娸	①異動処理 ②証明発行							
	②E 行:		き市有地と隣	接土地の智	管理境界区域証6	明を	③使用許可	J件数						
	(3)E	申請に基づる	き、行政財産の	の目的外位	使用許可を行う。		→ ④貸付件数 ⑤加入・解							
			貸付、その他 施設賠償保険		業務を行う。 也)の加入・解約		- XX							
		求手続きを1												
			_	単位	過去2年間の			当該年度			成果 <u>目標</u>			
	対象指標			2	平成29年度実		成30年度実績		1年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
			1の数値		526,989.76 144,650.35		27,269.18 44,764.22		388.18 764.22					
2				建柳川	144,000.00	J 12	44,104.22	144,	104.22					
+15														
tビ	Ę	成果指標	2の数値	%	100.	.О	100.0		100.0					
指標	Ę.	成果指標	2の数値		100.		100.0		100.0					
標 の		成果指標 		%										
標の推				%)考え方	10		100		100					
標 の				%)考え方 ①件	10		100		100					
標の推	E	目 標	②の目標値 目標値設定の	%)考え方 ①件 ②件	10 14 3		36 4		100					
標の推	E			%)考え方 ①件	10		100	5	100					
標の推	E 流	目 標 話動指標	②の目標値 目標値設定の ③の数値	% 0考え方 ①件 ②件 ③件 ④件 ⑤件	14 3 25 3 106	00	36 4 25 2 104	5	100 18 5 51 6					
標の推	E 流	国 標 香動指標 事 業 費	②の目標値 目標値設定の ③の数値	% 0考え方 ①件 ②件 ③件 ④件 ⑤件 円	14 3 25 3 106 2,510,36	60	36 4 25 2 104 2,049,346	1 7,	100 18 5 51 6 02 061,367	※人件費の所要人	数は、基本的には			
標の推	湯	目 標 手 業 費 □ 一般財源	②の目標値 目標値設定の ③の数値	% D考え方 ①件 ②件 ③件 ④件 ⑤件 円	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	60 60	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346	1 7,	100 18 5 51 6	「人」で表わしま	すが、一時的な仕事に			
標の推移	E 流	事業	②の目標値 目標値設定の ③の数値	% ①考え方 ①件 ②件 ③件 ④件 ⑤件 円	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	60	36 4 25 2 104 2,049,346	1 7,	100 18 5 51 6 02 061,367 061,367	「人」で表わしま ついては時間数で その場合単位を「	数は、基本的には すが、一時的な仕事に での表示も可とします。 一時間」に変更してくだ			
標の推移 3		きまれる 手 業 事 業 一般財源 特定財源 「うち	②の目標値 目標値設定の ③の数値 ③ の数値	% ○考え方 ①件 ②件 ③件 ④件 ⑤件 円	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	60 60 0	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346	1 7,	100 18 5 5 6 02 061,367 061,367	「人」で表わしま ついては時間数で その場合単位を「 さい。 人件費(再任用	すが、一時的な仕事に の表示も可とします。 「時間」に変更してくだ ま職員以外)			
標の推移	財源	きまれる 手 業 事 業 一般財源 特定財源 「うち	②の目標値 目標値設定の ③の数値 ③ の数値 5 受益者負担) 再任用以外)	% % 0考え方 ①件 ②件 ③件 ④件 ⑤件 円 円 円 円 円 円 円 円 円	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	50 50 0 0	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346 0	1 7,	100 18 5 51 6 02 061,367 061,367 0	「人」で表わしま ついては時間数で その場合単位を「 さい。 人件費(再任用 年間単価は、 8 時間単価は、	ですが、一時的な仕事に での表示も可とします。 時間」に変更してくだ 開職員以外) 3,310,000 円 4,300 円			
標の推移 3経	財源 大件費(目	事業 事業 事業 事 一般財源 特定財源 所要人数(i	②の目標値 目標値設定の ③の数値 ③ の数値 5 受益者負担) 再任用以外)	% ○考え方 ①件 ②件 ③件 ④件 ⑤件 円 円 円	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	60 60 0 0	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346 0 0	1 7, 7,	100 18 5 5 6 02 061,367 0 0 1.0	「人」で表わしまついては時間数でその場合単位を「さい。 人件費(再任用年間単価は、を時間単価は、で計算してくた	ですが、一時的な仕事に での表示も可とします。 時間」に変更してくだ は職員以外) 3,310,000 円 4,300 円 さい。			
標の推移 3経		事業 事業 事業 事 一般財源 特定財源 所要人数(i	②の目標値 目標値設定の ③の数値 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	% 0考え方 ①件 ②件 ③件 ⑤件 円 円 円	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	60 60 0 0	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346 0 0 1.0 0.0	1 7, 7,	100 18 5 51 6 02 061,367 061,367 0 0 1.0	「人」で表わしま ついては時間数で その場合単位を「さい。 人件費(再は、を 時間単価は、で で計算してくた 【算出根拠】平	ですが、一時的な仕事に での表示も可とします。 時間」に変更してくだ 開職員以外) 3,310,000 円 4,300 円			
標の推移 3経	財源 大件費(目	事 標 ・	②の目標値 目標値設定の ③の数値 動でである。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	% の考え方 ①件 ②件 ③件 ④件 ⑤件 円 円 円 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	60 60 60 0 0	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346 0 0 1.0 0.0 8,244,000	1 7, 7,	100 18 5 5 6 02 061,367 0 0 1.0 0.0 310,000	「人」で表わしま ついては時間数で その場合単位を「さい。 人件費(再は、を 時間単価は、で で計算してくた 【算出根拠】平	ですが、一時的な仕事に での表示も可とします。 時間」に変更してくだ 開職員以外) 3,310,000 円 4,300 円 さい。 30年度決算数値。			
標の推移 3経費	財源 人件費(目安)	事 標 ・	②の目標値 目標値設定の ③の数値 多の数値 多受益者負担) 再任用以外) 再任用以外) 再任用以外) 再任用以外) 「再任用以外) 「再任用以外) 「再任用以外)	% % 0 考え方 ①件 ②件 ③件 ⑤件 円 円 円 円 円 円 円 円 円	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	60 60 60 0 0	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346 0 0 1.0 0.0 8,244,000	1 7, 7,	100 18 5 51 6 02 061,367 0 0,0 1.0 0,0 310,000	「人」で表わしま ついては時間数で その場合単位を「さい。 人件費(再は、を 時間単価は、で で計算してくた 【算出根拠】平	ですが、一時的な仕事に での表示も可とします。 時間」に変更してくだ 開職員以外) 3,310,000 円 4,300 円 さい。 30年度決算数値。			
標の推移 3経費 4	財源 人件費(目安) (事 標 ・ 動指標 ・ 事 般定(うち) ・ 所 要 員 人 数() ・ 所 要 員 人 件 費 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	②の目標値 目標値設定の ③の数値 (実績) 5受益者負担) 再任用以外) 再任用以外) 関(再任用以外) 関(再任用以外) 関(再任用) ト人件費 に度 不明	% % % % % % % % % %	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	60 60 60 0 0	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346 0 0 1.0 0.0 8,244,000	1 7, 7,	100 18 5 51 6 02 061,367 0 0,0 1.0 0,0 310,000	「人」で表わしま ついては時間数で その場合単位を「さい。 人件費(再は、を 時間単価は、で で計算してくた 【算出根拠】平	ですが、一時的な仕事に での表示も可とします。 時間」に変更してくだ 開職員以外) 3,310,000 円 4,300 円 さい。 30年度決算数値。			
標の推移 3経費 4	財源 人件費(目安) (事 標 事 業 財源 特定財源 所 所 要 人 人 数 () 職員 人 業 世 十 年 1) 開始年	②の目標値 目標値設定の ③の数値 (実績) 5受益者負担) 再任用以外) 再任用以外) 関(再任用以外) 関(再任用以外) 関(再任用) ト人件費 に度 不明	% % % % % % % % % %	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36	60 60 60 0 0	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346 0 0 1.0 0.0 8,244,000	1 7, 7,	100 18 5 51 6 02 061,367 0 0,0 1.0 0,0 310,000	「人」で表わしま ついては時間数で その場合単位を「さい。 人件費(再は、を 時間単価は、で で計算してくた 【算出根拠】平	ですが、一時的な仕事に での表示も可とします。 時間」に変更してくだ 開職員以外) 3,310,000 円 4,300 円 さい。 30年度決算数値。			
標の推移 3経費	財源 人件費(目安) (一)	事 標 響	②の目標値目標値設定の ③の数値 ③の数値 ・受益者負担) 再任用) ・関係年用以外) ・関係年用) ・人件費 ・受変化	% 0考え方 ①件 ②件 ③件 ⑤件 円円円 円円円円 年度	14 3 25 3 106 2,510,36 2,510,36 2,510,36	60 60 0 0 0 0 0 0 0	36 4 25 2 104 2,049,346 2,049,346 0 0 1.0 0.0 8,244,000	1 7, 7, 15,	100 18 5 51 6 02 061,367 0 1.0 0.0 310,000 0 371,367	「人」で表わしま ついては時間数で その場合単位を「さい。 人件費(再は、を 時間単価は、で で計算してくた 【算出根拠】平	ですが、一時的な仕事に での表示も可とします。 時間」に変更してくだ 開職員以外) 3,310,000 円 4,300 円 さい。 30年度決算数値。			

事	業	名	称		財産		財産管理事務事業	Ξ Ι		
担当	部署	• 課長	名	総務管財	課	用地管	財係	課長名	岩本	尚史

5市	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
民等	市有地の財産運用(貸付、売払い等)について、議会でも取り上げられている。
等の	
意	
見	
[(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、 取組手法欄に番号を記載してください。 (複数回答可)
6	取組手法:
市	【取組手法の種類】
民協	☑ 取り組まない⑥情報提供・情報交換(広報媒体: ○⑦後援・場の提供 ⑧その他(○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
働	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点
	(1)平成31年度に課題とした内容(「平成30年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題(3)を転記)
	確認作業に多大な時間を要するため、現状の人員数では実施が困難である。
7	
7	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。
課	 人員の補充はなかったため、実施は困難であった。行政財産の目的外使用許可により収入が増加した。
題	八京の間があり、プルルのの私でのフル。コルベルとの自由アルスコローシーと、フェスへのも言って、
K	
	市の歳入確保のため、行政財産の目的外使用許可や普通財産の貸付など積極的に行なう必要がある。
8	施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)
	施策名: 効率的でスリムな行財政運営の実現
	☑ なっている □ 環境の変化等により成果が減少している □ 類似の事業が他にあり改善の余地がある(事業名:)
	(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)
	☑ 拡大 □ 現状維持 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止
9	【取組内容】
今	市の土地の貸付等、積極的に行ない歳入確保に努める、
後	
の方	
白	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
性	市が土地を貸付している等の周知方法等の検討。